

国立公園における利用拠点再生促進事業



【令和4年度第2次補正予算（案）1,000百万円】

国立公園の利用拠点における廃屋撤去を促進し、景観再生・自然再生を図ります。

1. 事業目的

自然・健康に関心が高まる中、観光需要の回復・拡大を支えるため、自然を活用した滞在型高付加価値観光の促進を目指し、地域一体となって日本の国立公園のブランド力を高める。

2. 事業内容

国立公園における廃屋撤去による引き算の景観改善を進めることにより、利用拠点の景観再生・自然再生を図り、地域の魅力向上と地域活性化を図る。

国立公園においては、利用者の減少により廃屋化した利用施設が周辺の景観を阻害している。コロナ禍で需要が高まりつつある自然を活用した滞在型観光の促進のため、利用拠点内に存在する廃屋の撤去による引き算の景観改善を進め、滞在型高付加価値観光の受入環境整備を図る

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者
- 実施期間 令和4年度

4. 事業イメージ



廃屋の撤去により利用拠点の景観再生・自然再生を図る

廃屋撤去による景観改善

